



写真-3 Twitterの投稿例(つなごう肱川教室)

治水等に関する様々な疑問に答え、我々の仕事を理解してもらいたいと考えている。

### 3) みんなで肱川点検

昨年の豪雨から1年経つことから、肱川の緊急治水対策の進捗を広く知ってもらうため、「みんなで肱川点検」を開催した。第1回はマスコミ各社に声を掛け、新聞社やテレビ局の5社に参加してもらうことが出来た。県とも調整し、国と県の整備区間について、バスで現場を回りながら、緊急治水対策の進捗状況を目で見てもらい、整備への理解を深めてもらった。その後に意見交換会を行い、マスコミから質疑を受けたが、多くのマスコミからは「今後の取材のための理解が進んだ。」という声をもらい、また、「進捗状況を数値で示してもらおうと記事にしやすい。」という意見ももらった。ダムや河川整備による治水の考え方は、一般の方にはすぐに理解できない面もあるため、マスコミ等を通じ丁寧に説明

していくことが重要であるし、今後ともマスコミの方とは、進捗状況などをこまめに情報共有することが大事だと感じた。

このような対外的なイベントの発案や調整は「Rising肱川」が主体的に行い、行程管理や広報用の写真撮影、SNSへのアップ及び上部機関への報告用資料の作成も行っている。

なお、第2回は地元住民を対象に開催する予定である。



写真-4 肱川点検の様子

## 4. おわりに

本稿では、平成30年7月豪雨を受けて始動した肱川緊急治水対策についての広報活動の取り組みを報告した。被災地として、地元からは期待を受け、全国的にも注目されているからこそ、国土交通省や県や市が行う事業やその取り組みについて、広く情報発信をすることが重要だと考える。今後とも「つなごう肱川」をスローガンに、肱川流域が一体となって治水対策を進め、「Rising肱川」が中心となって広報活動に取り組んでいきたい。

詰 碁

黒 先

出題 土井 誠 八段

[ヒント]

コウになっては失敗です。

[あなたの棋力は?]

5分……………1級

(解答は75頁)

詰 将 棋

出題 石田 和雄 九段

[ヒント]

まず初手に妙手あり。

[あなたの棋力は?]

5分……………二段

10分……………初段

(解答は75頁)